

新型コロナナ 一律10万円、事業者への給付金

一日も早く、市民に届けて！

2020年5月
臨時市議会

赤星・小西議員、市民の声を届ける



小西 直樹 市議

5月1日富山市議会臨時会が開かれ、新型コロナウイルス対策としての国の一律10万円支給やPCR検査費用、また富山市独自に介護事業所・利用者への支援金、保育所や学童保育などの利用自粛協力金などを盛り込んだ補正予算の審議が行われました。日本共産党からは赤星ゆかり、小西直樹両市議が、補正予算案の質疑を行いました。



赤星ゆかり市議

一律10万円

遅っ

支給は6月下旬

郵送の場合

「高齢者や障がい者、DV避難者など、もれなく」

赤星市議は、一人一律10万円の特別定額給付金について、「できるだけ早く一人も、もれなく支給することが求められている」と述べ、申請書の発送、申請受付、振込みはいっ頃になるのか質問しました。

市民生活部長は、5月1日からオンライン申請の受付を始め、支給は5月下旬〜6月になる見込み、郵送方式の申請書の発送と受付は5月下旬〜6月上旬の予定で、支給開始時期は6月下旬を目指していると答弁しました。

また、赤星市議は、ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯、障がい者の方に対する申請の援助が必要ではと質問。市民生活部長は、「寝たきりや認知症の人などは代理申請できる。制度の周知など適切に対応したい」と答弁しました。

DV避難者は世帯主とは別に受け取ることができません。「DV避難者の申し出は、4月30日締切りだったが延長された。周知を」との質問に、部長は「申し出は現在22件。相談体制を整え、周知に努めている」と答えました。

33の介護事業所が休業

事業者に10万円、利用者に1万円

小西市議は、「PCR検査の拡大が感染拡大を止めるポイントと言われている」と指摘し、富山市民のPCR検査数と『帰国者・接触者外来』（検査もしている機関）は何カ所あるのか」と問いました。酒井福祉保健部長は「4月29日現在1823件（複数回の検査も含む）、「PCR検査数の増加に対処するために県衛生研究所に加え、民間に委託する準備を整えた」と答弁しました。

また、富山市が独自支援をする休業した介護事業所数については、「訪問・通所系631カ所のうち33カ所、のべ465日」と報告。

小西市議の「介護事業所は3密を避けるために3割から5割の利用を制限し、経営に大きな影響が出ており介護崩壊も懸念される。市として財政支援を」との問いに「感染状況、国・県の動向を注視しながら検討を行う」と答えました。

初めて公表

富山市民のPCR検査、1823件

4/29 現在

医療体制の拡充、介護事業者への支援を



↑今本副市長(右)に要望書を手渡す
高橋委員長
赤星市議
小西市議
吉田・前市議

日本共産党富山地区委員会が市長に要望
日本共産党富山地区委員会は4月27日、新型コロナウイルス感染症対策について富山市長宛てに申し入れを行いました。高橋渡地区委員長と赤星市議、小西市議、吉田前市議の4人が参加。今本副市長が応対しました。冒頭、高橋氏が4月16日に日本共産党中央委員会が発表した「緊急提言」を手渡し、「自粛・休業要請と一体に補償」の立場で対策をすすめるよう求めました。

具体的には、PCR検査・医療体制の拡充、介護事業者への支援、一律10万円の早期給付など16項目。

副市長は、関係部署に伝えると述べました。



うらなも
ご覧ください。